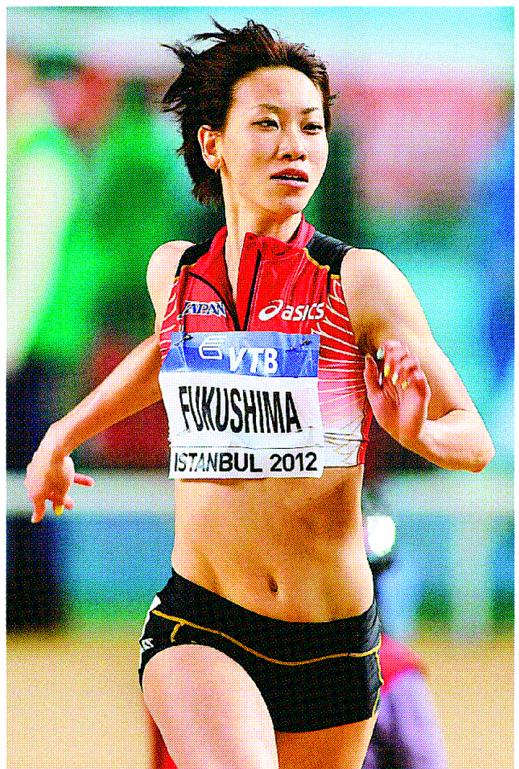


福島 60メートル 日本新

世界室内陸上 予選で7秒29

陸上の世界室内選手権第2日は10日、トルコのイスタンブールで行われ、女子60メートル予選で初出場の福島千里(23)＝北海道ハイテクACIIが7秒29の室内日本新記録を樹立し、2組2着で11日の準決勝に進んだ。従来の日本記録は7秒40で、1992年2月に伊藤佳奈恵(北海道・恵庭北高)、96年2月に北田敏恵(大体大T&F)、今年2月に土井杏南(埼玉栄高)がそれぞれマークした。福島は屋外の100、200メートルで日本記録を持つ。ロンドン五輪を目指す福島は今大会が今季初戦。室内は初めての経験で、しかも世界室内選手権とい

陸上の世界室内選手権第2日は10日、トルコのイスタンブールで行われ、女子60メートル予選で初出場の福島千里(23)＝北海道ハイテクACIIが7秒29の室内日本新記録を樹立し、2組2着で11日の準決勝に進んだ。従来の日本記録は7秒40で、1992年2月に伊藤佳奈恵(北海道・恵庭北高)、96年2月に北田敏恵(大体大T&F)、今年2月に土井杏南(埼玉栄高)がそれぞれマークした。福島は屋外の100、200メートルで日本記録を持つ。ロンドン五輪を目指す福島は今大会が今季初戦。室内は初めての経験で、しかも世界室内選手権とい



陸上の世界室内選手権女子60メートル予選で日本新記録を樹立し、準決勝に進んだ福島千里＝10日、トルコ・イスタンブール(AFP時事)

内大会の60メートルに初めて挑んだ。

初出場の大舞台
難なく準決勝へ

▽日本女子短距離のエース、福島が堂々の準決勝進出を果たした。室内の60メートル出場は初めての経験で、しかも世界室内選手権とい

う大舞台。同行している所属先の中村宏之監督によると、「緊張していたようだった」。それでも、予選2組の1レーンから好スタートを切り、中盤までトップ。最後は4レーンのナイジェリア選手にかわされたが、7秒29でゴールし、室内日本記録(7秒40)を大幅に塗り替えた。

無条件で準決勝に進める同組2着。難なく予選を突破した。

中村監督は「本人は『あつという間に終わった』と言っていた」と説明。同監督は「7秒1台が出てもおかしくないと思っていた」としながらも、「とにかく1本走って、落ち着いたと思う」。強敵と争う11日の準決勝で、さらに記録を伸ばすかもしれない。